



窓に残る昔のガラスは、表面が平らではありません。ゆらめく外の景色とともに、時間がゆっくりと流れていきます

昭和24年に外壁が濃い緑色に塗られましたが、不評のため、わずか4年で現在の色に塗り替えられました



知って
てだ!?

昔は
緑色だった!?

時計台



明治11(1878)年10月に、札幌農学校(北海道大学の前身)の演武場として建てられた時計台。当初、頂塔には鐘を設置していましたが、黒田清隆開拓長官の発案で時計が設置されたと伝えられています。

長い歴史の中で時計台は、裁判所、郵便局、図書館などの役割を果たしたこともあります。

時計台は、ビルの谷間にあり、寂しい姿に見えるかもしれませんが、実はこれらのビルが風などから時計台を守ってくれているのです。



夜には、2階ホールでコンサートが開かれる日も

7/28(土)に
記念演奏会
を開催!
(詳細は19頁)

表紙
の答え

時計台には全部で17個の星が付いています。全部見つけられるかな?(表紙写真は時計台でした)

所在地 中央区北1西2 電話 231-0838
観覧料 200円、団体(20人以上) 180円、中学生以下無料
開館時間 午前8時45分～午後5時10分(入館は5時まで)
休館日 月曜(6月～10月は第4月曜) ※ 祝休日の場合は翌日
交通機関 地下鉄大通駅から徒歩3分
HP www15.ocn.ne.jp/~tokeidai

カルチャー
ナイト



「時計台がこんな街の中にあっておかしい」と思う方もいるようですが、歴史を学び、知ることによって、ここに時計台があることの素晴らしさを感じることができると思います。ぜひ一度中に入って、歴史の流れを感じてほしいですね。

時計の保守を親子2代で
74年にわたって行っている
井上 和雄さん

豊平館



最初の利用者は
明治天皇

明治時代にタイムスリップしたような豊平館は、127年前の明治13(1880)年11月に、北海道開拓使が貴賓を迎えるホテルとして建設しました(現在の中央区北1西1に建設。昭和33年に現在地に移設)。最初の利用者は明治天皇で、明治14年8月30日～9月2日に滞在され、その後、皇太子時代の大正天皇・昭和天皇も滞在されました。

現在は一般公開されているほか、結婚式、宴会、会合などに幅広く利用されています。

知って
てだ!?



皇太子時代の
大正天皇が滞
在された時に
使用した
椅子を展示し
ています



挙式場。昭和33年から、約2万2,000組がここで式を挙げました



各部屋に付いているシャンデリア。その上部には、部屋の名にちなんだ繊細なしっくい彫刻が施されています

重要文化財で結婚式を挙げられるのは全国でも珍しく、思い出に残るものになりますよ。夏はカフェテラスもオープンします。現在、外壁を塗り直していて、豊平館の特徴である美しい青色「ウルトラマリンブルー」が一層鮮やかになります。ぜひ一度お越しください。

館長の 塩田 恒雄さん



ロビーの時計は、月の満ち欠けも示すムーン・フェイスと呼ばれるもので、大型時計としては珍しいものです



所在地 中央区中島公園内
電話 511-0985 観覧料 無料
開館時間 午前9時～午後5時 休館日 第2火曜(6月～10月を除く)
交通機関 地下鉄南北線中島公園駅から徒歩5分
HP www.city.sapporo.jp/shimin/bunkazai/bunkazai/syousai/k_houheikan.html

カルチャー
ナイト